



保健だより

吉岡中学校 保健室

特別号

9月も中旬を過ぎましたが、学校生活のリズムは取り戻せていますか？期末テストも終わり、1，2年生は新人戦に向けて部活動に熱が入る毎日ですね。3年生は受験に向けて頑張る毎日ですね。

今、日本国内で、**デング熱**が流行し始めています。テレビ等で報道されていますので、気になっている人もいるのではないのでしょうか。今のところ、埼玉県内でウイルスを保有する蚊は確認されていませんが、正しい知識を持ち、行動できるようにしましょう。

デング熱とは

デングウイルスが感染しておこる急性の熱性感染症で、発熱、頭痛、筋肉痛や皮膚の発疹などが主な症状です。

症状

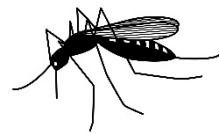
- 感染しても、発症する頻度は10～50%
- 突然の発熱、激しい頭痛、関節痛、筋肉痛、発疹等が現れる。
- 潜伏期間は3日から7日。
- まれに重症化して、デング出血熱や、デング症候群に移行する。

治療法

- 対症療法（解熱や水分補給等）が主体。有効なウイルス薬はない。

感染経路

- ネットアイシマカやヒトスジシマカがウイルスを媒介する。ヒトスジシマカは国内に広く分布している。
- ヒト（患者）→蚊→ヒト という経路で感染し、ヒトからヒトに直接感染することはない。



予 防 法

- 蚊との接触を避け、刺されないようにすること。

★具体的に次のことに気を付けましょう★

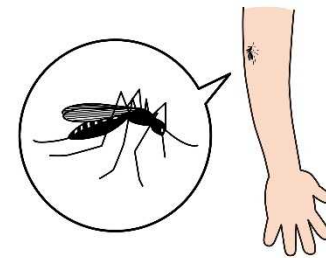
●蚊に刺されないようにする。

屋外の蚊が多くいる場所で活動する場合は、できるだけ肌を出さないようにし、虫よけ剤を使用するなど、蚊に刺されないように注意しましょう。



●身のまわりで蚊の発生を抑える。

ヒトスジシマカの幼虫は、比較的小さい容器に発生するので、日ごろから住まいの周囲の清潔に心がけましょう。週に1度は、植木鉢の受け皿やプラスチック容器などにたまった水を捨て、蚊の幼虫がわからないようにしましょう。



保護者の方へ

デング熱に感染しても、重症化することはまれです。蚊に刺されてから、3日～7日程度で、高熱のほか頭痛、目の痛み、関節痛等の症状が見られれば、デング熱の可能性もあるため、早めに医療機関を受診してください。

